

新倉坂下の周辺には国指定の遺跡や和光市指定の文化財などが点在しています。歴史ある寺院を巡るの散策をしてみませんか。



→国指定・午王山遺跡：新倉坂下バス停の坂を上った小丘一帯は弥生時代以降の集落跡(150棟以上)が発見されました。朝鮮半島より新羅人が渡って帰化し新羅郡を形成したと言われ、新羅王子の居住跡があったと言われ、御房山、午房山と呼ばれていました。

徒歩 午王山遺跡まで 約2.6km(40分)

←長照寺：真言宗智山派。境内に大イチョウがあり、推定樹齢約700年、幹回り 7.5m 以上、高さ約 29m。市の天然記念物に指定されています。



↑金泉禅寺：臨濟宗建長寺派



↑満願寺：真言宗智山派



五輪塔



↑壱鑑寺・五輪塔：曹洞宗。下新倉の領主・酒井家の菩提寺です。酒井家の墓石である五輪塔は市の有形文化財に指定されています。墓石の五輪塔にはそれぞれ地・水・火・風・空の五文字が刻まれており、宇宙五大部を意味しています。